

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和6年8月23日	担当部署	文化観光部 観光振興課
-------	-----------	------	-------------

※以下は令和6年3月31日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人名	株式会社 みなもとの郷		
代表者	代表取締役 内藤 潔		
	☒ 常勤	☐ 非常勤	☒ プロパー ☐ 市兼務 ☐ その他
所在地	新潟県上越市吉川区坪野 1458 番地 2		
設立年月日	平成12年2月9日		
資本金	10,000 千円	市出資割合	51.0%
設立目的	吉川区源地域を中心とした中山間地の地域振興を目的に市の所有若しくは管理する不動産及び入浴施設その他の施設の管理運営を行うため。		
主な事業	(1) 吉川スカイトピア遊ランドの管理運営 (2) 吉川地域バス運行事業の運行業務委託 (3) 吉川観光協会の事務受託 (4) 尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会の事務受託		

3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
取締役	1	6	7	7	0	0
監査役	0	1	1	1	0	0
計	1	7	8	8	0	0

4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	5	5	0
その他	17	17	0
計	22	22	0

5 事業実績（概要）

【第 25 期の経営状況】

- ・ 第 25 期の売上高は、前期と比較して 3,431 千円減（6.3%の減）の 51,282 千円となりました。新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したことなどにより、全般的に利用者数が増加し、施設利用売上が増加しました。一方で指定管理委託料の減少などもあり、売上高全体は減少しました。
- ・ 売上原価は、利用者数の増加や原材料の高騰もあり、前期と比較して 1,089 千円増（12.2%の増）の 10,049 千円となりました。
- ・ 販売費及び一般管理費は前期と比較して 2,312 千円減（5.0%の減）の 43,682 千円となり、最終的な当期純利益は△2,519 千円の赤字となりました。

【主な取組内容】

- ・ 6 月と 8 月にゲートボール大会を開催し、施設の利用促進につなげました。
- ・ 新たに、遊ランド杯パラグライダー大会を開催し、施設の利用促進につなげました。
- ・ 令和 6 年能登半島地震で被害を受けた石川県を応援するイベントを開催し、被災地を支援するとともに、施設の利用促進を図りました。

【施設の利用実績】

○ 吉川スカイトピア遊ランド

（単位：人）

		第 23 期	第 24 期	第 25 期
宿 泊		859	1,474	1,685
休 憩（食堂）		2,265	2,898	3,614
体験交流 センター	入館者 （入浴）	2,160	2,279	3,236
	体験者	153	492	235
小 計		5,437	7,143	8,770

- ・ 第 25 期の利用者数は 8,770 人となり、前期と比較して 1,627 人の増（22.8%の増）となりました。このうち、宿泊の利用者は 1,685 人となり、前期と比較して 211 人の増（14.3%の増）となりました。

6 財務状況（税込）

（単位：千円）

項 目		第 23 期 自 令和 3 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 31 日	第 24 期 自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日	第 25 期 自 令和 5 年 4 月 1 日 至 令和 6 年 3 月 31 日
損益計算書	売上高	37,414	54,713	51,282
	売上原価	7,108	8,960	10,049
	売上総利益	30,306	45,752	41,233
	販売費及び 一般管理費	35,623	45,994	43,682
	営業利益	△5,317	△242	△2,449
	営業外収益	6,316	0	0
	営業外費用	0	0	0
	経常利益	999	△242	△2,449
	特別利益	0	0	0
	特別損失	0	0	0
	税引前当期純利益	999	△242	△2,449
	法人税等	140	70	70
	当期純利益	859	△312	△2,519
項 目		令和 4 年 3 月 31 日現在	令和 5 年 3 月 31 日現在	令和 6 年 3 月 31 日現在
貸借対照表	資 産	13,689	14,450	11,608
	負 債	3,394	4,467	4,145
	純資産	10,295	9,983	7,464
	資本金	10,000	10,000	10,000
	利益剰余金	295	△17	△2,536
	その他	0	0	0

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

7 市からの財政支出等

(1) 委託額（税込）

（単位：千円）

内訳		令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
①	吉川スカイトピア遊ランド指定管理委託料	8,809	11,473	8,797	
②	吉川緑地等利用施設指定管理委託料	1,467	0	0	
③	吉川地域バス運行业務委託料	3,580	3,444	3,442	
計		13,856	14,917	12,239	

(2) 財政援助額（税込）

（単位：千円）

内訳		令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
①	補助金（助成金）	710	1,661	300	
	店舗等改装促進事業補助金	199	0	0	
	時短要請協力金	511	1,125	0	
	第4次事業者経営支援金	0	100	0	
	イノベーション事業補助金	0	436	0	
	上越市エネルギー価格高騰支援金	0	0	300	
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償	0	0	0	
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他（補填金）	193	1,054	1,088	
	エネルギー価格高騰補填金（指定管理）	0	807	679	
	シニアパスポート減免補填金	193	247	388	
	能登半島地震補填金	0	0	21	
計		903	2,715	1,388	

8 市以外からの補助金・助成金等

(1) 受給額（税込）

（単位：千円）

内訳		令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
①	雇用調整助成金	2,081	0	0	労働局
②	特別求職者雇用開発助成金	700	0	700	労働局
③	一時支援金	600	0	0	中小企業庁
④	月次支援金	800	0	0	中小企業庁
⑤	宿泊事業者感染防止対策支援事業補助金	1,425	0	0	県
⑥	事業復活支援金	0	600	0	中小企業庁
計		5,606	600	700	

9 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

【第 26 期事業計画】

- ・ 地域活性化の中核会社と位置づけ、これまでと同様に主要事業であるスカイトピア遊ランドの管理運営事業を主体として、諸事業等の持続性を第一義に考えて進める。
- ・ 地域バス運行業務、道の駅よしかわ杜氏の郷直売所等の運営に取り組むほか、スカイトピア遊ランドの運営においては、地域住民の安全・安心にも配慮するなど、引き続き地域の諸課題にも対応しつつ、各種事業等を積極的に展開し、雇用の場の創出と地域の活性化を図りながら地域福祉の向上に貢献する。
- ・ スカイトピア遊ランドを地域活性化の拠点施設として位置付け、経営についても真剣に検討を重ね、事業の継続化が図られるよう取り組む。
- ・ リピーターの回復を目指し誘客に力点を置きながら、市との協議・連携を深め、事業の持続化に努める。

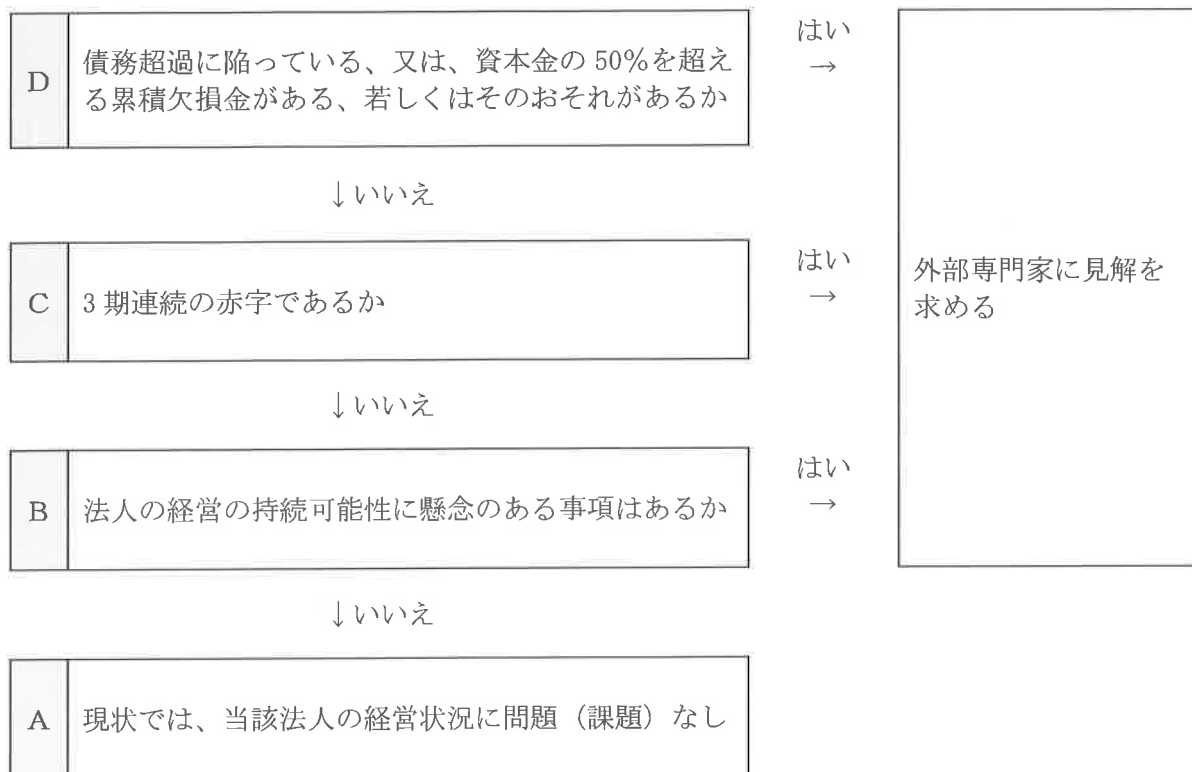
(2) 中長期経営計画

なし

10 令和6年度 経営状況の分析・評価

(1) 第三セクターの経営状況の分析・評価のフローチャート

※「第三セクターに対する関与方針」から抜粋



フローチャートによる評価基準		備考
A	経営状況に問題（課題）なし	引き続き経営努力を行う
B	法人の経営の持続可能性に懸念がある	経営健全化の可能性について、外部専門家に見解を求める
C	当期純利益が3期連続の単年度赤字である	
D	債務超過に陥っている、又は、資本金の50%を超える累積欠損金がある	

フローチャートによる評価	A	→ BからD評価の法人は(2)へ
【特記事項】 特になし		

報告事項 第25期営業報告について

第25期 営業報告書

株式会社 みなもとの郷

概況等

- (1) 当施設は、地域の皆様方に安らぎの場を提供し、地域の活性化に役立てていただくとともに、スカイスポーツを楽しむ仲間達の休憩、交流等にも利用していただく事を目的として整備されています。また、都市在住者等との各種交流や各種体験等ができる体験交流センターの機能に加え、宿泊や食事、入浴、休憩もできる機能を有しています。

施設設置の主旨に即し、市民活動の支援・助長をする公共施設としての管理運営に努め、利用者の意見や要望をできるだけ反映させるなど、指定管理者として業務を開始以来18年間が経過いたしました。

こうした施設の特徴を生かして、これまでは越後田舎体験事業等にも積極的に取り組み、HPの活用や口コミ等によるPRに力点を置き、特にリピーター確保を目指し、役職員で協力し合いながら売り上げを伸ばすとともに、コスト削減に取り組むなど経営改善にも配慮しながら進めてきています。

- (2) 令和2年から今年度まで続いた新型コロナウイルス感染症問題が大きな社会問題となり、全国的に宿泊、飲食サービス業を中心に関連業界も含めて苦境に立たされてきていたことはご案内のとおりであります。

当社にとっても、それ以降都会方面からの宿泊客の激減や田舎体験事業の縮小、食事・宴会客の減少等により経営が難しい状況が続く中、国や県、市の支援策等を積極的に活用し難局を乗り越えて来ていました。

- (3) しかしながら、コロナ過が長引き、市の指定管理委託料が令和4年度から一時的に増額されたものの、今年度は約268万円減額となり経営が厳しくなる一因となってしまいました。

一方、当社では地域雇用を第一義としてきていたものの近年では過疎等により地域雇用にも限界が生じている中、新たな職員の採用も止むなく、加えて国の方針として給与の引き上げが示され、当社としてはかつてから劣悪だった給与改善も行わざるを得ない状況となり一定の改善を行いました。

更に、世界情勢の変化によるものか今年度から電気料、燃料代、諸物価などが上がり経営にとって強いパンチを受ける結果となってしまいました。

- (4) また、本年元日に発生した能登半島地震以来、旅行や宴会が控えられる風潮により、「北陸応援割」を活用したものの割当額が少なく短期間で終了するなどメリットが少なかったため、今期（令和5年度）の営業収益（売上高）は、51,282 千円であり、前期営業収益（売上高）との比較では 3,430 千円の減（約 6.3%の減）となりました。

営業費用については、社会の動勢等を鑑み、働き方改革の一環として人件費の向上に配慮しつつ、お客様にはサービスの低下とならないように水道光熱費等の抑制に努めました。結果として 53,731 千円となり、営業収益（売上高）を大きく上回る数値となり営業損失は 2,449 千円、税引後の当期純損失額が 2,519 千円となってしまいました。

- (5) 取締役会の開催につきまして、課題等が生じた場合にのみ必要に応じて開催することとし、当期は、昨年株主総会以降 6 月 28 日、12 月 26 日と本年 6 月 15 日の 3 回開催いたしました。

決 算 報 告 書

(第 25 期)

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

株式会社みなもとの郷

新潟県上越市吉川区坪野1458
番地2

電話：025 - 547 - 2221

貸借対照表

令和 6年 3月31日 現在

株式会社みなもとの郷

(単位： 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	5,793,973	【流動負債】	4,144,747
現 金 及 び 預 金	2,056,757	買 掛 金	414,470
売 掛 金	413,460	未 払 金	110,000
商 品	2,158,788	未 払 費 用	2,044,638
未 収 入 金	1,129,468	未 払 法 人 税 等	70,000
仮 払 金	35,500	未 払 消 費 税 等	1,032,800
【固定資産】	5,603,080	預 り 金	472,839
【有形固定資産】	5,602,080	負 債 の 部 合 計	4,144,747
建 物	2,015,898	純 資 産 の 部	
建 物 附 属 設 備	957,585	【株主資本】	7,463,720
構 築 物	78,758	資 本 金	10,000,000
機 械 装 置	44,728	利 益 剰 余 金	-2,536,280
車 両 運 搬 具	1	そ の 他 利 益 剰 余 金	-2,536,280
工 具 器 具 備 品	2,505,110	繰 越 利 益 剰 余 金	-2,536,280
【投資その他の資産】	1,000		
出 資 金	1,000		
【繰延資産】	211,414		
開 業 費	211,414	純 資 産 の 部 合 計	7,463,720
資 産 の 部 合 計	11,608,467	負 債 及 び 純 資 産 合 計	11,608,467

損 益 計 算 書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

株式会社みなもの郷

(単位： 円)

科 目	金 額	
【売上高】		
売 上 高	51,282,329	
売 上 高 合 計		51,282,329
【売上原価】		
期 首 商 品 棚 卸 高	2,378,656	
当 期 商 品 仕 入 高	9,829,247	
合 計	12,207,903	
期 末 商 品 棚 卸 高	2,158,788	
売 上 原 価		10,049,115
売 上 総 利 益 金 額		41,233,214
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		43,682,195
営 業 損 失 金 額		2,448,981
【営業外収益】		
受 取 利 息	26	
営 業 外 収 益 合 計		26
経 常 損 失 金 額		2,448,955
税引前当期純損失金額		2,448,955
法人税、住民税及び事業税		70,000
当 期 純 損 失 金 額		2,518,955

販売費及び一般管理費内訳書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

株式会社みなもとの郷

(単位： 円)

科 目				金 額	
給 料 手 当				29,690,480	
雑 給				3,800	
法 定 福 利 費				2,092,944	
福 利 厚 生 費				264,898	
外 注 費				862,630	
広 告 宣 伝 費				107,677	
接 待 交 際 費				48,000	
通 信 費				416,023	
消 耗 品 費				916,637	
修 繕 費				169,180	
水 道 光 熱 費				5,562,265	
諸 会 費				147,160	
支 払 手 数 料				185,885	
車 両 費				461,842	
賃 借 料				800,925	
保 険 料				135,980	
租 税 公 課				1,689,076	
雑 費				126,793	
販売費及び一般管理費合計					43,682,195

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

株式会社みなもとの郷

(単位： 円)

【株主資本】

資 本 金	当期首残高	10,000,000
	当期末残高	10,000,000
利 益 剰 余 金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	当期首残高	-17,325
	当期変動額	当期純利益金額
		-2,518,955
	当期末残高	-2,536,280
利 益 剰 余 金 合 計	当期首残高	-17,325
	当期変動額	-2,518,955
	当期末残高	-2,536,280
株 主 資 本 合 計	当期首残高	9,982,675
	当期変動額	-2,518,955
	当期末残高	7,463,720
純 資 産 の 部 合 計	当期首残高	9,982,675
	当期変動額	-2,518,955
	当期末残高	7,463,720

個 別 注 記 表

株式会社みなもとの郷

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用しております。

固定資産の減価償却の方法

定額法又は旧定額法及び定率法又は旧定率法を採用しております。

会計処理の原則又は手続きの変更

消費税の会計処理は税込方式を採用しております。

2 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

10,036,294円

監査報告書

第25期決算監査の結果、貸借対照表、損益計算書および利益処分について、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

令和6年6月15日

株式会社みなもとの郷

監査役 中 村 久 人



第 26 期 事業計画並びに収支計画について

株式会社 みなもとの郷

1. 当社の経営は、施設が山間地に存するという立地条件に加え行き止まりという交通条件の不便さ、加えて積雪が多く、過疎化・人口の高齢化が急速に進む地域の中で、役職員の相互協力による営業努力と経費削減に努めながら、地域の皆さんの協力をいただきながら地域活性化の中核会社と位置付け、これまでと同様にスカイトピア遊ランドの管理運営業務を主体として諸事業等の持続性を第一義に考えて進めて参ります。

2. 地域バスの運行業務、よしかわ道の駅におけるソバ直売店の運営、吉川観光協会の業務、尾神岳スカイスポーツエリアの運営等々に加え、遊ランドが市の指定緊急避難場所とされていること等を鑑み、地域住民の安全・安心にも配慮するなど引き続き地域の諸課題にも対応しつつ、これまでの事業を参考に各種事業等を積極的に展開し、雇用の場の創出と地域の活性化に配慮しながら、地域福祉の向上に貢献して参ります。

また、令和4年度から市の指定管理施設で無くなった吉川緑地等利用施設の内、スーパースライダーと見はらし荘については、尾神岳観光エリアの中にあり、まだ利用可能な施設であるとして、市と協議の結果当社が必要に応じて管理運営をすることとしています。夏休み期間や土・日曜日等の天候の良い日には尾神岳の賑いのためにも若干のリスクを伴うものの引き続き利活用を図っていきたいと考えています。

3. コロナ禍が収束して「新しい生活様式等」がどう変わっていくかなどは予想がつかない現状にあります。また、ロシアとウクライナの戦争やイスラエル侵攻問題など世界不安が大きく伝えられています。

こうした中ではありますが、中心施設のスカイトピア遊ランドは地域活性化の拠点施設としての位置付けにあることを確信し、当社の経営についても真剣に検討を重ねながら事業の継続化が図られるように取り組んで参ります。

4. 収支計画については、これまでの実績を考慮し負債の解消に向け計画いたしました。いずれにしても、リピーターが戻ってくれることを願い誘客に力点を置きながら、日常的に市との協議・連携を深め事業の持続化に努めて参ります。

第26期 収支計画

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(収入の部)

単位:千円

科目	本年度計画額	前年度計画額	増 減	備 考
利 用 料 金	38,000	38,600	-600	入浴(日帰り)、宿泊、体験交流、食堂、スライダー等の利用料金
受 託 料	10,742	11,896	-1,154	指定管理者等受託料(遊ランド、地域バス)
雑 収 入	7,358	7,504	-146	売店、自主事業等収入
合 計	56,100	58,000	-1,900	

(支出の部)

科目	本年度計画額	前年度計画額	増 減	備 考
給 料 賃 金	29,800	32,000	-2,200	遊ランド、地域バス等
法 定 福 利 費	2,100	1,862	238	社会保険料、労働保険料
福 利 厚 生 費	300	198	102	通勤手当、職員研修費
租 税 公 課	1,700	1,200	500	法人税・住民税・消費税
諸 会 費	140	170	-30	商工会費、食品衛生協会費等
仕 入	9,800	8,830	970	
水 道 光 熱 費	5,600	5,800	-200	水道、電気、ガス代
旅 費 交 通 費	20	30	-10	
通 信 費	420	500	-80	電話代、切手代等
広 告 宣 伝 費	110	150	-40	広告掲載料、HP管理費等
接 待 交 際 費	50	50	0	
損 害 保 険 料	140	200	-60	食中毒保険等
修 繕 費	200	550	-350	施設・設備修繕料
消 耗 品 費	1000	1400	-400	事務消耗品等
減 価 償 却 費	200	400	-200	
車 両 掛 費	500	1,100	-600	車燃料代等
支 払 手 数 料	190	750	-560	記帳指導料等
環 境 衛 生 費	300	750	-450	ゴミ収集等
設 備 保 守 料	600	1,500	-900	浄化槽、消防設備等
賃 借 料	150	300	-150	車両、設備リース
雑 費	140	160	-20	テレビ受信料他
予 備 費	100	100	0	
合 計	53,560	58,000	-4,440	